

(2) 市民の環境配慮のための重点行動指針

この重点行動指針は、市民環境懇話会で実施してきた環境調査などから市民生活の実態を考慮し、特に優先的に取り組むべき行動指針を抽出し、それぞれの具体的な行動例を示したものです。

▶ 市民の環境配慮のための重点行動指針と具体的な行動例

重点行動指針	具体的な行動例
家庭ごみの適正な処理に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみは決められた回収日に決められた方法で出しましょう。 ・ダイオキシン類の発生を抑えるため、庭先などでのごみの焼却はやめましょう。 ・空き缶やビン類、ペットボトル、古新聞、段ボール、牛乳パック、古布などは、資源回収に出しましょう。
日常生活における電気の節約に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・待機電力の消費量は大きいので、電気製品の使い方を工夫しましょう。 ・環境家計簿などを活用しながら日常生活を見直してみましょう。
自動車の使用をできるだけ控えるように努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車利用を控え、できるだけ循環バスや電車を利用しましょう。
公園や身近な環境の緑化に対する協力をしましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や緑をつくる活動に積極的に参加しましょう。 ・環境関連団体などが実施する緑化活動に協力しましょう。
環境保全活動等への参加・協力・実践に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・市や環境関連団体などが主催する環境保全活動や学習会へ参加しましょう。 ・周囲と協力しあって、環境保全活動や学習会を企画して、開催しましょう。

重点行動指針検討の流れ

